

河川・ダム事業

- 洪水や土砂災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備

河川事業では、河川整備計画流域懇談会を開催し、住民や専門家の意見を広く聴きながら、①治水（流域を水害から守る）、②利水（水を利用し地域の発展を支える）、③環境（多くの生き物が棲める豊かな河川空間の保全）の3つの視点をもって河川整備計画を策定し、事業を進めています。

河川の整備と治水安全度の向上

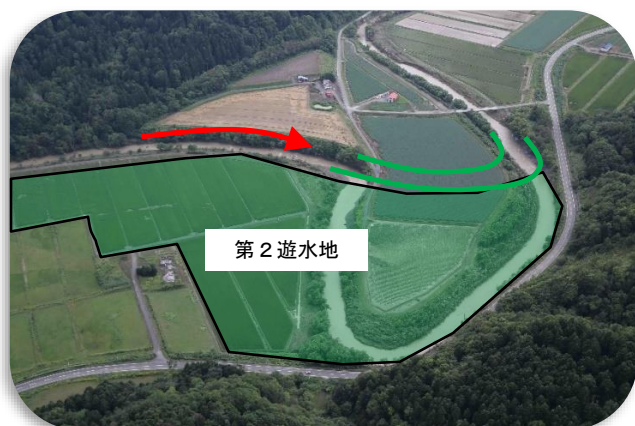
有明ダム(初山別村)

施設の老朽化に伴い平成24年度から堰堤改良の設計調査に着手し、ゲートレス化を行い出水時等のダム管理の合理化等を図るとともに、貯水池の堆砂対策を検討しており、工事については、平成29年度から実施しています。

令和3年10月29日よりネーミングライツにより愛称が「第一カッター有明ダム」となりました。



古丹別川(上流工区)(苦前町)



平成11年の氾濫を契機に河川改修を実施してきましたが、平成28年8月に発生した計画規模を上回る洪水により甚大な浸水被害が発生したため、再度の浸水被害防止を目的に、計画規模を引き上げた河川整備計画を策定（平成31年3月変更）しました。

令和元年度から着手した新たな計画では、遊水地の新設や河道掘削及び堤防等の整備を実施し、再度の河川氾濫を防止するとともに安全な地域づくりを進めていきます。

ウツツ川(遠別町)



平成22年8月豪雨による浸水状況

平成22年8月の豪雨に伴い、家屋や農耕地に大きな浸水被害が発生したため、令和元年度から新規に事業着手し、堤防の新設や河道の掘削等により流下能力不足の解消を図ります。

また、工事の実施に当たっては、良好な河川環境の保全に配慮しながら整備を進めていきます。

多自然川づくりの展開

小平薬川(小平町)

昭和63年の大氾濫を契機に、小平ダム completion と相まって災害に強い安全な地域づくりを目指し整備を進めました。

また、多様な動植物が育めるように、河岸に石や木など自然の材料を使用した水制工の施工や早急な植生回復を目的とした玉石柳枝工などの多自然工法も取り入れ平成21年度に完成しました。



石積み水制工



木製水制工



玉石柳枝工



地域参加による川づくり

河川整備を進める区間について、河川工事、河川維持、河川環境の整備と保全等に関して、地域住民や生態学などの学識経験者を交えた河川整備計画流域懇談会などを開催し、地域の意見を反映させた河川整備計画を策定しています。

留萌川圏域河川整備計画流域懇談会の開催状況(令和2年8月31日開催)



森と湖に親しむつどい

おびらしべ湖森と湖に親しむつどい(小平町)

「森と湖に親しむ旬間」にちなんで毎年7月、小平ダムで開かれているこのつどいは、多くの地域の方々が参加し、ダムの見学や地域団体等の催し物、各種ゲームなどで楽しい1日を過ごしています。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年のつどいは中止となりました。
写真は令和元年に実施したときのものです。

